

先日 2 回生の卒業生がメディアセンターに
400 冊を超える英語の本を寄贈してくれました。
中高生向け人気のシリーズ作品や絵本などさまざま。
まるで卒業生から在校生へのクリスマス
プレゼントのようですね!



■ 今月の新着図書から ■



『新・洋書ベスト 500』 分類 028
渡辺由佳里 / コスモピア

文藝、ミステリ、ホラー、ロマンス、ノンフィクションなど、分類ごとに分けて洋書を 500 冊紹介しています。読みやすさのレベルや関連キーワードまで表示されているので、司書が洋書の選書をするときにも大助かりな一冊。



『国連で働く』 分類 366
植木安広弘 / 岩波書店

混沌とする世界情勢のなか、平和と構築、人道支援、軍縮、環境など国連の果たす役割はますます大きくなっています。国連機関での仕事に関心のある人はぜひ!



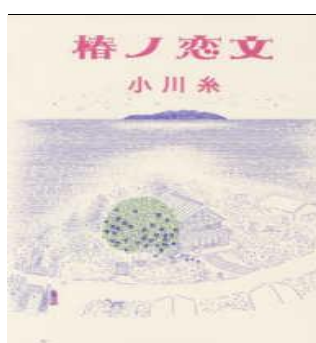
『きりえや偽本図書館』 分類 726
高木亮 / 現代書館

「My 姫」「アリと栗毛リス」。元の題名はわかりますか? 「舞姫」と「アリとキリギリス」ですね。この本は、名作をパロディして見事な切り絵のブックカバーにしています。この楽しさは実際に本を手にとるとわかります!!



『スポーツ3.0』 分類 780
平尾剛 / ミシマ社

著者の平尾氏いわく、スポーツ 1.0 は、根性論中心の水すら飲ませない時代。2.0 は、根性ではなく訓練に科学的根拠が求められるようになった時代。そして 3.0 は、根性と科学の融合という試みが求められていると解いています。さあ皆さんはどう思う?



『椿ノ恋文』 分類 913
小川糸 / 幻冬舎

鎌倉を舞台にしたツバキ文具店。シリーズ 3 冊目ですが、主人公は結婚し、3 人の子どもの母として登場。子ども小学校に入学し、依頼人に代わって手紙を書く「代書」の仕事をややうく再開。ツバキ文具というお店の名前の由来もみえてきますよ!



『下剋上球児』 分類 913
菊地高弘 / KANZEN

日曜日に TBS で放映中のドラマ「下剋上球児」。県内でも最下位だった高校の野球部が甲子園までいく、というミラクルな展開ですが、三重県立白山高校がモデルとなっています。ドラマとは異なる実話ならではの手に汗握る展開をぜひ本でも。

冬休みの特別貸出しのお知らせ

12月8日(金)～終業式の22日(金)まで、「冬休みの特別貸出」をおこないます。
期末テストが終わったあとで、読みたかった本を冬休み中にぜひ借りませんか？

貸出期間:2023年12月8日～22日終業式まで
返却日:2024年1月9日(火)始業式

一人 **10冊** まで借りられます。(通常は5冊)

*すでに延滞がある人は、延滞本を返却してから借りてくださいね。

●11月&12月の館内図書展示

「働く～仕事環境とお仕事小説～」

今月は4年生の国語で「働く・労働」関係の資料を展示するのにあわせ、国内外の仕事についての本を展示しました。

非正規労働者の増加や、外国人労働者の労働環境など、少子高齢化社会の日本において、「労働」について考えることは、まさにみなさんの生きていく社会を考えることにつながります。

合わせてさまざまな「お仕事小説」も並べていますので、他学年の人もぜひどうぞ！

<展示図書>

- 『仕事の未来』 小林雅一 講談社現代新書
- 『コンビニ外国人』 芹澤健介 新潮新書
- 『ストライキ 2.0』 今野晴貴 集英社新書
- 『最低賃金』 日本弁護士連合会 岩波ブックレット
- 『ドイツではそんなに働かない』 隅田貫 角川書店
- 『「お客様」がやかましい』 森真一 筑摩書房
- 『書店ガール』 碧野 圭 PHP出版
- 『これは経費で落ちません!』 青木祐子 集英社
- 『7.5グラムの奇跡』 砥上裕将 講談社
- 『春のはじまる朝-家裁調査官物語』 藤川洋子 東京書籍



この他にも関連図書、展示中です！

本棚 期末テストが
終わりましたが、館
内には半袖で来館す
る人たちがいて、十二
月とはいえ、本当に暖
かな冬のはじまりで
す。◀ところでメディア
センター入口にある
靴箱が3学期から変
わります。通路の中
央にある靴箱は、以
前、消防の観点から、
とつぎの際に通路を
狭めていると指摘さ
れました。このため中
央の靴箱を取り除
き、事務室とメディア
センターの両側の壁
にこれまでよりも高
さのある靴箱を取り
つけることになりま
した。冬場はショート
ブーツなど、高さのあ
る靴をはく人もいま
すが、一番下の段には
そうした靴も入れら
れる予定です。慣れ
るまでは違和感があ
るかもしれませんが、
通路が広くなる分、
出入りの混雑は緩和
されそうです(渡邊)